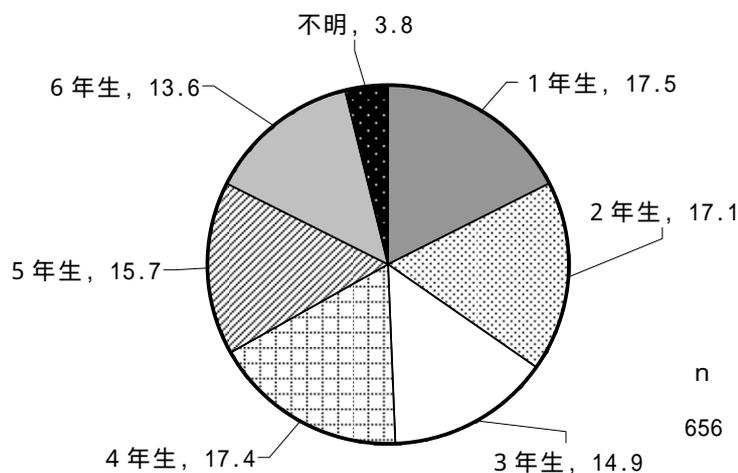


第3章 小学校児童調査集計結果

1 調査対象者の属性と家族の状況

問1 年齢（学年）

【SA】

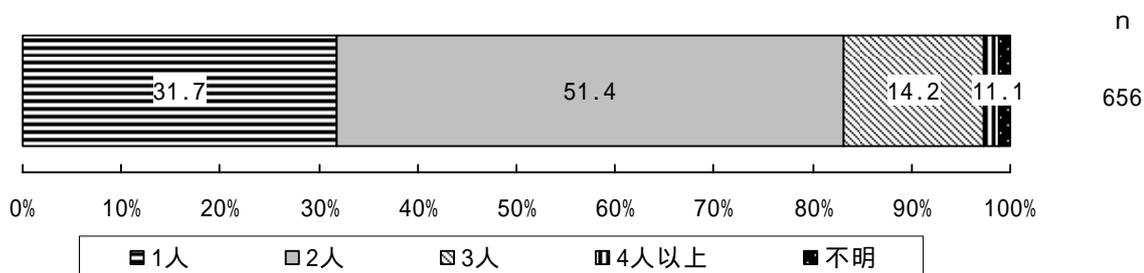


No.	カテゴリー名	n	%
1	1年生	115	17.5
2	2年生	112	17.1
3	3年生	98	14.9
4	4年生	114	17.4
5	5年生	103	15.7
6	6年生	89	13.6
	不明	25	3.8
	全体	656	100.0

問2 子どもの人数

【SA】

子どもの数は「2人」が51.4%で過半数を占めて最も多く、次いで、「1人」31.7%、「3人」14.2%、「4人以上」11.1%の順となった。



末子の年齢は、「9～12歳未満」が49.5%、「6～9歳未満」が42.0%である。

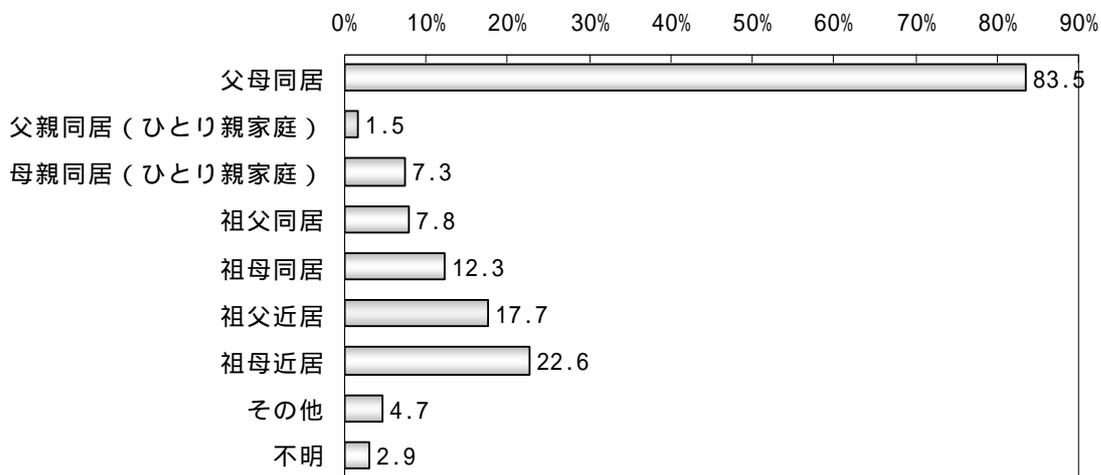
No.	カテゴリー名	n	%
1	0～3歳未満	0	0.0
2	3～6歳未満	1	0.2
3	6～9歳未満	185	42.0
4	9～12歳未満	218	49.5
	不明	36	8.2
	非該当	216	
	全体	440	100.0

問3 同居・近居の家族の状況 【MA】

同居者は「父母同居」が83.5%で最も多く、次いで「祖母近居」22.6%、「祖父近居」17.7%の順となっている。

ひとり親家庭は、「父親同居（ひとり親家庭）」1.5%、「母親同居（ひとり親家庭）」7.3%で合わせると8.8%となっている。

n=656



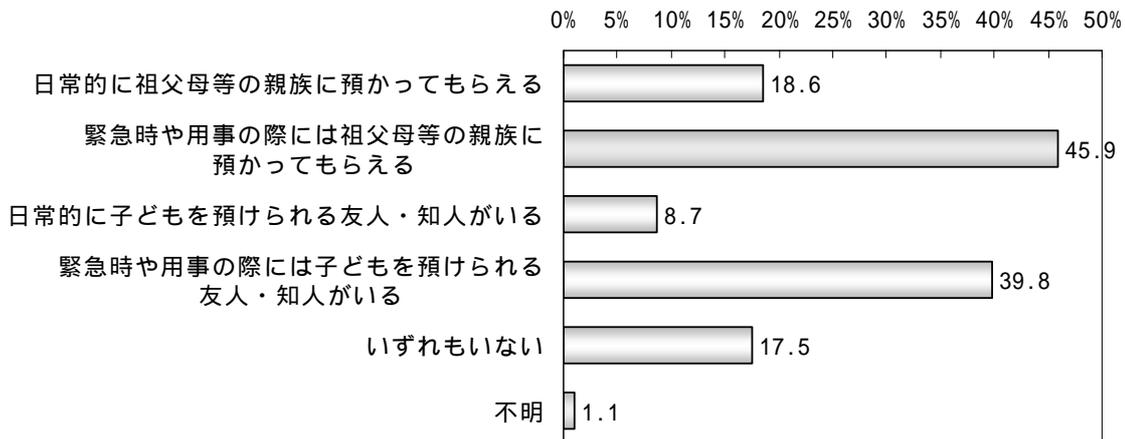
	全体	問1 生年月							
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明	
合計	656 100.0	115 100.0	112 100.0	98 100.0	114 100.0	103 100.0	89 100.0	25 100.0	
問3 家族の状況	父母同居	548 83.5	101 87.8	99 88.4	83 84.7	95 83.3	74 71.8	77 86.5	19 76.0
	父親同居（ひとり親家庭）	10 1.5	0 0.0	4 3.6	1 1.0	1 0.9	1 1.0	3 3.4	0 0.0
	母親同居（ひとり親家庭）	48 7.3	6 5.2	5 4.5	4 4.1	9 7.9	17 16.5	6 6.7	1 4.0
	祖父同居	51 7.8	7 6.1	9 8.0	9 9.2	6 5.3	9 8.7	10 11.2	1 4.0
	祖母同居	81 12.3	10 8.7	15 13.4	16 16.3	7 6.1	17 16.5	14 15.7	2 8.0
	祖父近居	116 17.7	28 24.3	17 15.2	15 15.3	22 19.3	19 18.4	12 13.5	3 12.0
	祖母近居	148 22.6	31 27.0	19 17.0	22 22.4	31 27.2	24 23.3	18 20.2	3 12.0
	その他	31 4.7	5 4.3	2 1.8	6 6.1	6 5.3	6 5.8	6 6.7	0 0.0
	不明	19 2.9	3 2.6	3 2.7	3 3.1	3 2.6	4 3.9	1 1.1	2 8.0

問4 子どもを預かってもらえる人の状況

【MA】

子どもを預かってもらえる人の状況については、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が45.9%と最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」39.8%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」18.6%、「日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」8.7%の順で、預かってもらえるあてがない方は17.5%となっている。

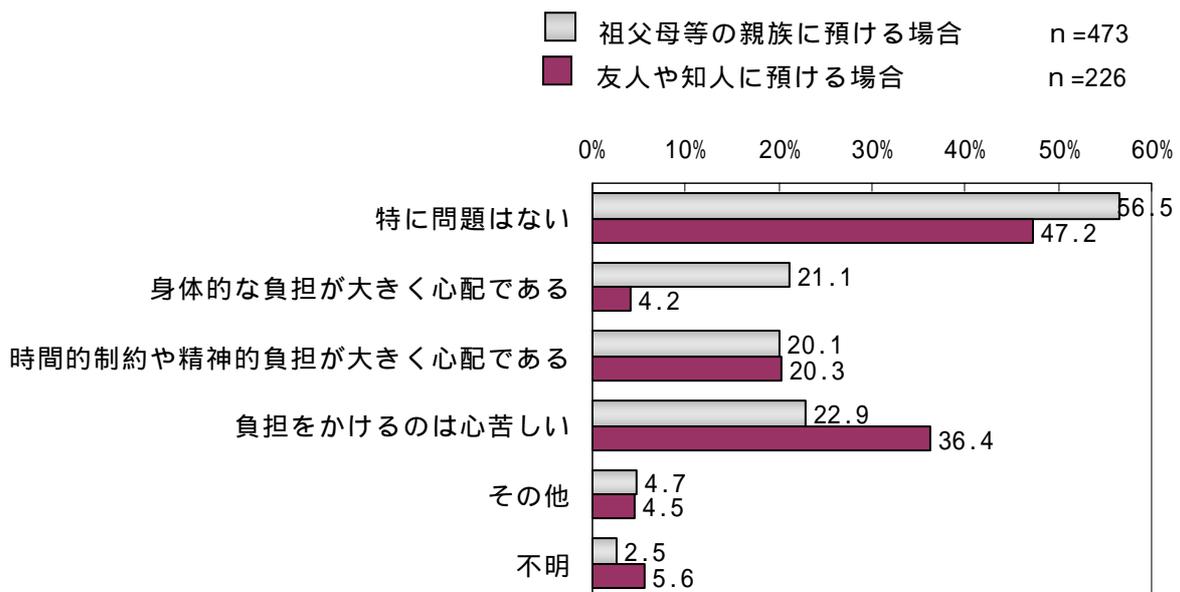
n=656



問4-1,2 預ける場合の困難度

問4「1」「2」 SA

預ける場合の困難度については、「特に問題はない」は“祖父母等の親族”では56.5%、“友人・知人”では47.2%で最も多いが、「負担をかけるのは心苦しい」は“友人・知人”では36.4%で“祖父母等の親族”の22.9%に比べ高い割合となっている。



問5 主に子どもの世話をする人 SA

子どもの世話をする人は「主に母親」が92.2%で圧倒的に多く、「主に父親」や「主に祖父母」は1%台に過ぎない。

No.	カテゴリー名	n	%
1	主に父親	7	1.1
2	主に母親	605	92.2
3	主に祖父母	10	1.5
4	その他	3	0.5
	不明	31	4.7
	全体	656	100.0

問6 居住地区 SA

居住地区は、「芝久保町」が11.3%で最も多く、次いで、「谷戸町」9.8%、「柳沢」7.5%の順である。

なお、5ブロック別にみると、Cブロックが178人(27.1%)で最も多く、Bブロックが80人(12.2%)で最も少ない。

各ブロックの学年別児童の割合は、低学年はBブロックが最も多く、高学年はAブロックが最も多い。

No.	カテゴリー名	n	%
1	Aブロック	105	16.0
2	Bブロック	80	12.2
3	Cブロック	178	27.1
4	Dブロック	143	21.8
5	Eブロック	118	18.0
	不明	32	4.9
	全体	656	100.0

No.	カテゴリー名	n	%
1	田無町	30	4.6
2	南町	38	5.8
3	西原町	14	2.1
4	緑町	10	1.5
5	谷戸町	64	9.8
6	北原町	12	1.8
7	向台町	47	7.2
8	芝久保町	74	11.3
9	新町	27	4.1
10	柳沢	49	7.5
11	東伏見	17	2.6
12	保谷町	30	4.6
13	富士町	29	4.4
14	中町	21	3.2
15	東町	23	3.5
16	泉町	28	4.3
17	住吉町	28	4.3
18	ひばりが丘	18	2.7
19	ひばりが丘北	11	1.7
20	栄町	13	2.0
21	北町	22	3.4
22	下保谷	19	2.9
	不明	32	4.9
	全体	656	100.0

		全体	問6 居住地区(総合)					不明
			Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	
合計		656	105	80	178	143	118	32
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
学年	1年生	115	23	14	25	28	22	3
		17.5	21.9	17.5	14.0	19.6	18.6	9.4
	2年生	112	11	15	35	26	21	4
		17.1	10.5	18.8	19.7	18.2	17.8	12.5
	3年生	98	18	13	32	18	14	3
		14.9	17.1	16.3	18.0	12.6	11.9	9.4
	4年生	114	21	10	33	22	19	9
		17.4	20.0	12.5	18.5	15.4	16.1	28.1
5年生	103	12	16	25	23	23	4	
	15.7	11.4	20.0	14.0	16.1	19.5	12.5	
6年生	89	18	9	20	24	14	4	
	13.6	17.1	11.3	11.2	16.8	11.9	12.5	
不明	25	2	3	8	2	5	5	
	3.8	1.9	3.8	4.5	1.4	4.2	15.6	

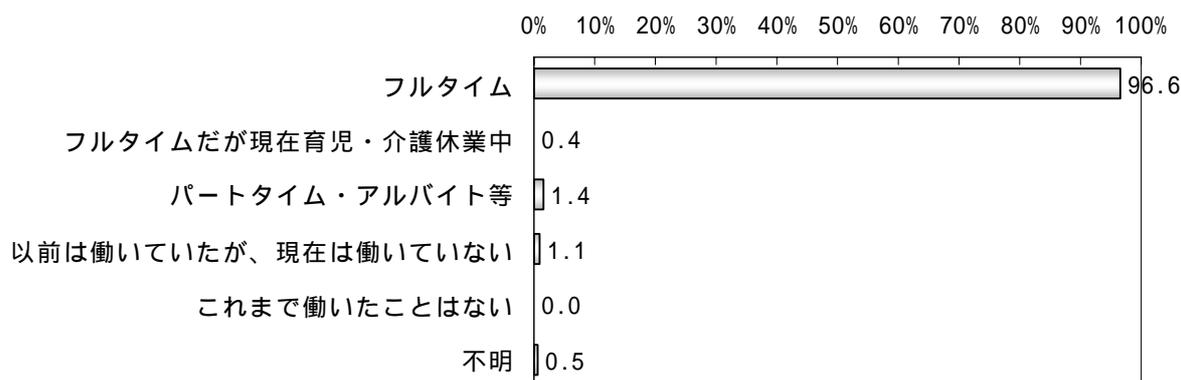
2 保護者の就労状況について

問7 現在の就労状況

(1) 父親の就労状況 (SA)

父親の就労状況は、「フルタイム」が96.6%、次いで「パートタイム・アルバイト等」1.4%となっている。

n=558



“フルタイム”の父親の週あたりの就労時間は、「49～60時間未満」が27.8%、次いで「60時間以上」26.7%で、平均では49.0時間となっている。また、帰宅時間は、「20～22時」が35.8%と最も多く、次いで「22～24時」23.9%、「18～20時」17.3%の順である。

父親の就労時間 / 週

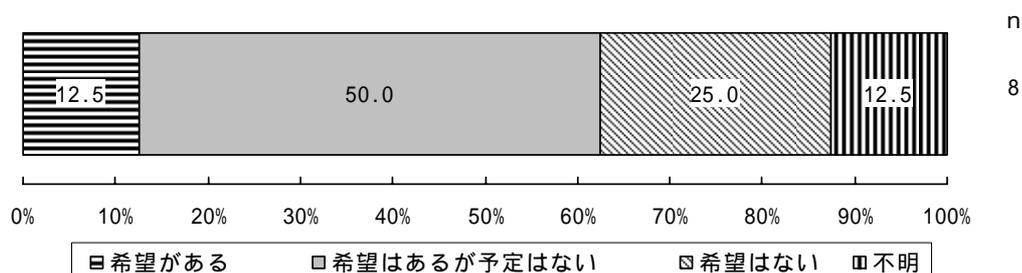
No.	カテゴリー名	n	%
1	30時間未満	47	8.7
2	30～43時間	85	15.8
3	43～49時間	58	10.8
4	49～60時間	150	27.8
5	60時間以上	144	26.7
	不明	55	10.2
	非該当	117	
	全体	539	100.0

父親の帰宅時間

No.	カテゴリー名	n	%
1	8～16時	26	4.8
2	16～18時	7	1.3
3	18～20時	93	17.3
4	20～22時	193	35.8
5	22～24時	129	23.9
6	0～8時	19	3.5
	不明	72	13.4
	非該当	117	
	全体	539	100.0

“パートタイム・アルバイト等”の父親の週あたりの就労日数は、平均で4.6日、1日当たりの就労時間は、6.6時間である。

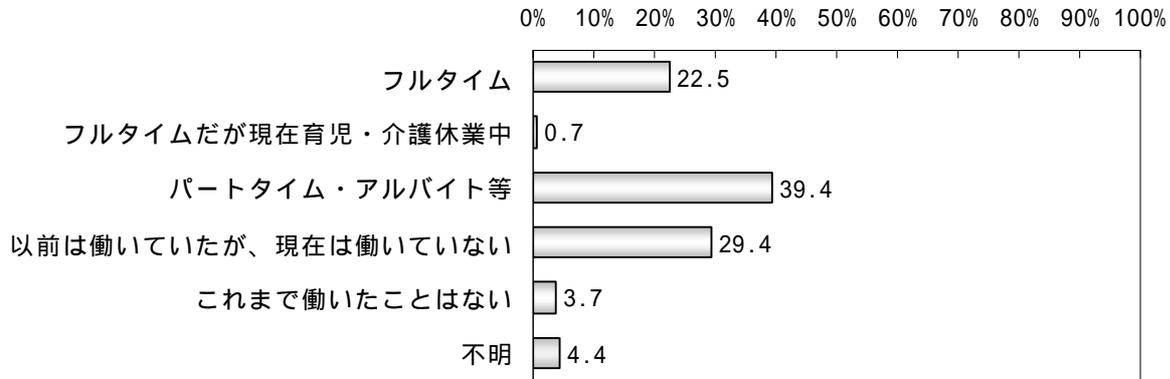
“パートタイム・アルバイト等”の父親のフルタイムへの転換希望は、対象となる8人中、「希望があるが予定はない」が4人、「希望はない」が2人、「希望がある」が1人である。



(2) 母親の就労状況(SA)

母親の就労状況は、「パートタイム・アルバイト等」が39.4%、次いで「以前は働いていたが、現在は働いていない」29.4%。「フルタイム」22.5%となっている。

n=558



“フルタイム”の母親の週あたりの就労時間は、「30～43時間未満」が59.0%、次いで「43～49時間未満」16.4%で、平均では37.6時間となっている。また、帰宅時間は、「18～20時」が63.4%と最も多く、次いで「20～22時」が14.9%である。

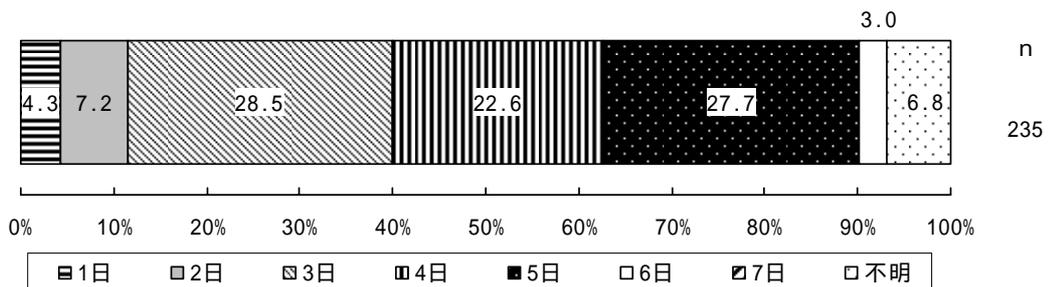
母親の就労時間 / 週

No.	カテゴリー名	n	%
1	30時間未満	15	11.2
2	30～43時間	79	59.0
3	43～49時間	22	16.4
4	49～60時間	9	6.7
5	60時間以上	2	1.5
	不明	7	5.2
	非該当	522	
	全体	134	100.0

母親の帰宅時間

No.	カテゴリー名	n	%
1	8～16時	4	3.0
2	16～18時	10	7.5
3	18～20時	85	63.4
4	20～22時	20	14.9
5	22～24時	2	1.5
6	0～8時	2	1.5
	不明	11	8.2
	非該当	522	
	全体	134	100.0

“パートタイム・アルバイト等”の母親の週あたりの就労日数は、「3日」が28.5%で最も多く、平均4.3日である。また、1日当たりの就労時間は、平均5.0時間である。



“パートタイム・アルバイト等”の母親のフルタイムへの転換希望は、「希望はない」が40.9%、「希望はあるが予定はない」が24.7%、「希望がある」が12.8%である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	希望がある	30	12.8
2	希望はあるが予定はない	58	24.7
3	希望はない	96	40.9
	不明	51	21.7
	非該当	421	
	全体	235	100.0

問8 未就労の母親の就労希望

問7(2)「4」「5」 SA

現在未就労の母親の今後の就労希望については、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」が41.6%で最も多く、次いで、「有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)」が33.5%、「無」が21.3%である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	有(すぐにでも若しくは1年以内に希望がある)	66	33.5
2	有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)	82	41.6
3	無	42	21.3
	不明	7	3.6
	非該当	459	
	全体	197	100.0

問8-1 希望する就労形態

問8「1」「2」 SA

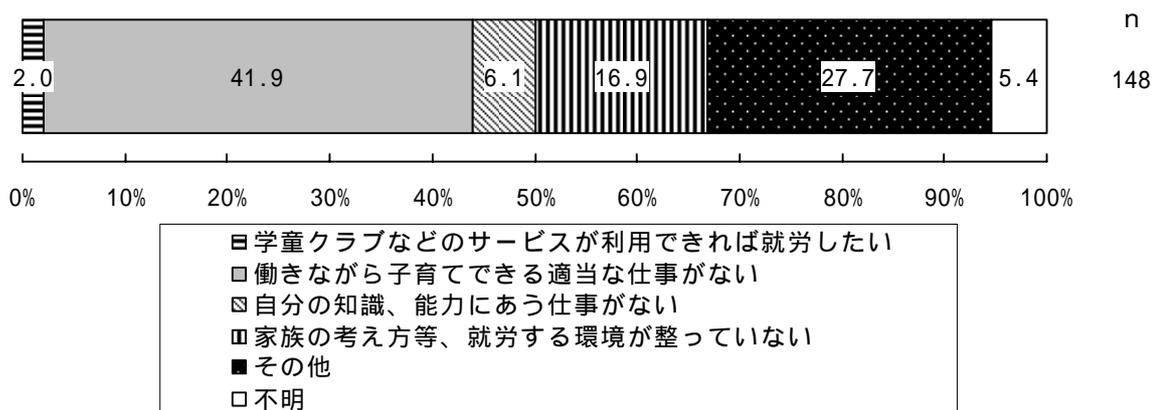
就労希望のある方が望む就労形態としては、「パートタイム、アルバイト等」が86.5%、「フルタイム」が8.8%である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	フルタイムによる就労	13	8.8
2	パートタイム、アルバイト等による就労	128	86.5
	不明	7	4.7
	非該当	508	
	全体	148	100.0

問8-2 未就労の理由

問8「1」「2」 SA

就労を希望しながら現在は働いていない理由については、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が41.9%で最も多く、次いで「その他」が27.7%である。



問8-3 一番小さい子が何歳になったときに就労を希望するか

問8「2」 NA

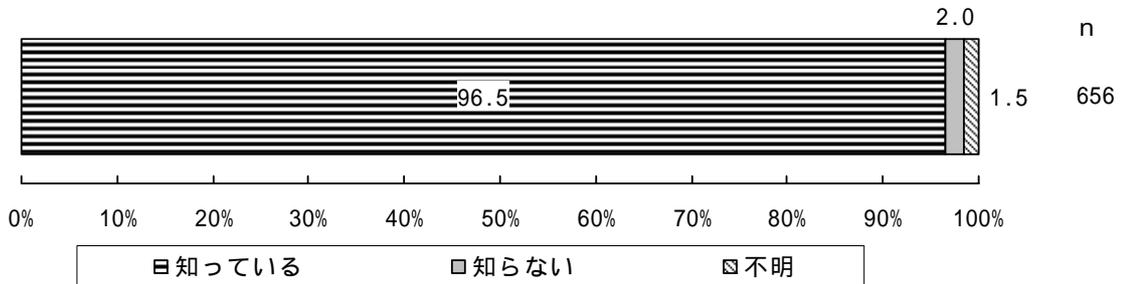
就労を希望する時期について末子の到達年齢として聞いたところ、「10歳」と「13歳」が同率の31.7%で最も多く、平均では11.6歳となっている。

3 学童クラブの利用について

問9 学童クラブの認知度

SA

学童クラブの認知度は、「知っている」が96.5%と高い。



問9-1 学童クラブの利用状況

SA

学童クラブの利用状況は、「利用している」16.0%、「利用していない」82.3%である。

学年別では「利用している」は“1年生”の27.8%が最も多く、4年生以上の利用率は1割未満となっている。

	全体	問1 生年月						
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明
合計	656	115	112	98	114	103	89	25
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
問9-1 学童クラブの利用状況	利用している	105	32	31	21	10	3	4
		16.0	27.8	27.7	21.4	8.8	2.9	4.5
	利用していない	540	80	81	76	102	98	83
	82.3	69.6	72.3	77.6	89.5	95.1	93.3	
不明	11	3	0	1	2	2	2	
	1.7	2.6	0.0	1.0	1.8	1.9	2.2	

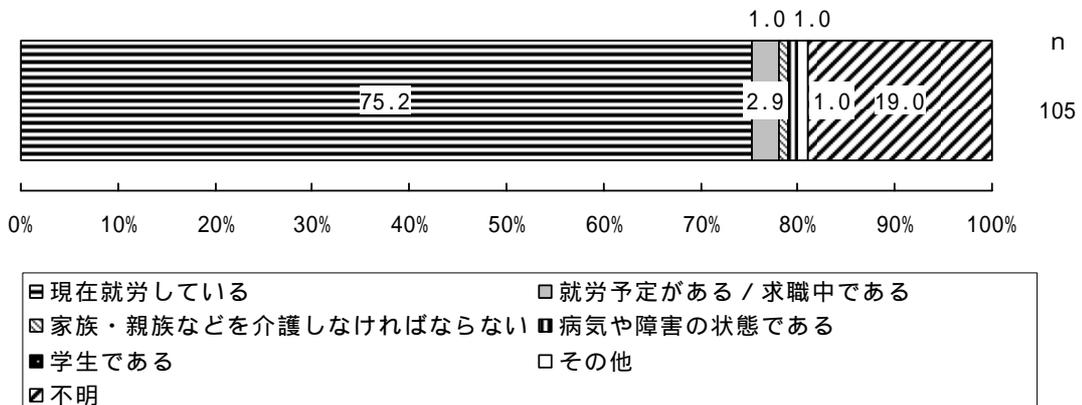
問9-2 学童クラブの利用日数と利用理由

問9-1「1」

SA

学童クラブの利用日数は、平均で4.2日/週、うち土曜日は61.9%が利用している。

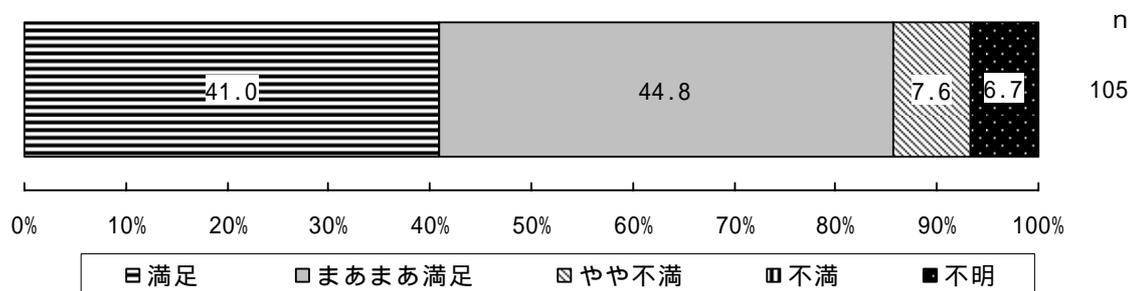
学童クラブを利用している理由については、「現在就労している」が75.2%で最も多く、次いで「就労予定がある/休職中である」が2.9%で、就労による理由がほとんどとなっている。



問 9-3 学童クラブの満足度

問 9-1「1」 SA

学童保育の満足度は、「満足」が41.0%、「まあまあ満足」が44.8%で合わせた満足度は8割以上と高く、「不満」と回答した人は一人もいない。



問 9-4 学童クラブ未利用の理由

問 9-1「2」 SA

学童クラブを利用していない理由は、「現在就労していないから」が40.4%で最も多く、次いで、「その他」が31.3%、「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が14.8%の順となっている。

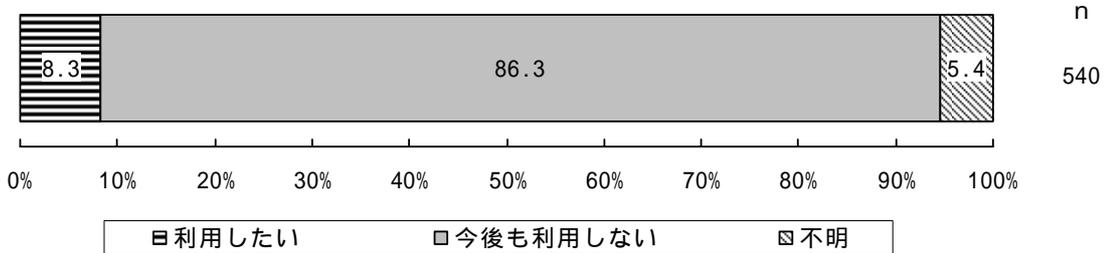
No.	カテゴリー名	n	%
1	現在就労していないから	218	40.4
2	就労しているが、学童クラブを知らなかったから	4	0.7
3	就労しているが、近くに学童クラブがないから	1	0.2
4	就労しているが、学童クラブに空きがないから	3	0.6
5	就労しているが、学童クラブの開所時間が短いから	0	0.0
6	就労しているが、利用料がかかるから	4	0.7
7	就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから	33	6.1
8	就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから	80	14.8
9	就労しているが、他の施設に預けているから	0	0.0
10	その他	169	31.3
	不明	28	5.2
	非該当	116	
	全体	540	100.0

問 9-5 学童クラブの今後の利用意向

問 9-1「2」 SA

学童クラブの今後の利用意向については、「利用したい」は 8.3%、「今後も利用しない」が 86.3%となっている。

学年別では、低学年の利用意向が高く、利用希望者の平均利用希望日数は、3.1 日 / 週となっている。



	全体	問 1 生年月							
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明	
合計	540 100.0	80 100.0	81 100.0	76 100.0	102 100.0	98 100.0	83 100.0	20 100.0	
問 9 - 5 学童クラブの利用意向	利用したい	45 8.3	19 23.8	10 12.3	5 6.6	4 3.9	4 4.1	2 2.4	1 5.0
	今後も利用しない	466 86.3	55 68.8	69 85.2	67 88.2	97 95.1	86 87.8	76 91.6	16 80.0
	不明	29 5.4	6 7.5	2 2.5	4 5.3	1 1.0	8 8.2	5 6.0	3 15.0

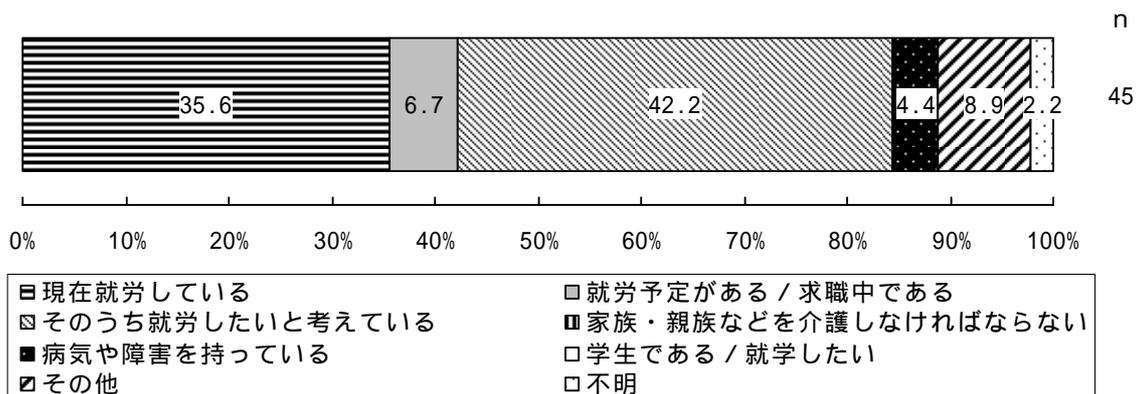
居住地区別の学童クラブの利用意向は、“Dブロック”が 11.9%で最も高く、“Aブロック”が 5.7%で最も低い。

	全体	問 6 居住地区(総合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	540 100.0	87 100.0	66 100.0	150 100.0	118 100.0	98 100.0	21 100.0	
問 9 - 5 学童クラブの利用意向	利用したい	45 8.3	5 5.7	5 7.6	10 6.7	14 11.9	8 8.2	3 14.3
	今後も利用しない	466 86.3	79 90.8	58 87.9	136 90.7	96 81.4	79 80.6	18 85.7
	不明	29 5.4	3 3.4	3 4.5	4 2.7	8 6.8	11 11.2	0 0.0

問 9-6 学童クラブを利用したい理由

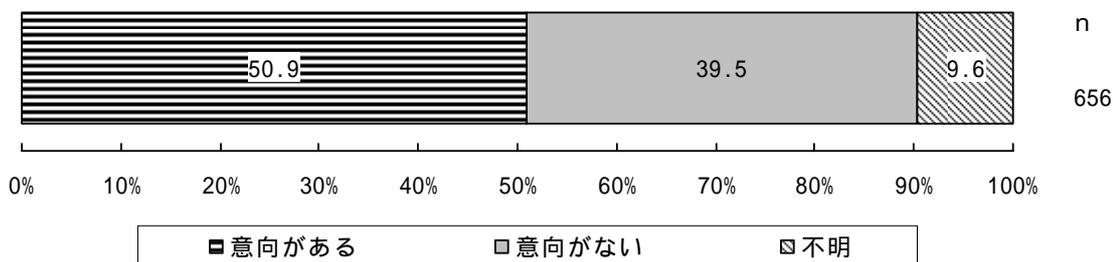
問 9-5「1」 SA

学童クラブを利用したいと考えている理由としては、「そのうち就労したいと考えている」が 42.2%で最も多く、次いで「現在就労している」35.6%、「その他」8.9%となっている。



問 9-7 放課後子ども教室の利用意向 SA

放課後子ども教室の利用意向については、「意向がある」が 50.9%、「意向がない」が 39.5% となっている。



利用意向がある人の、利用希望日数は、2.5 日 / 週となっている。

利用希望日数

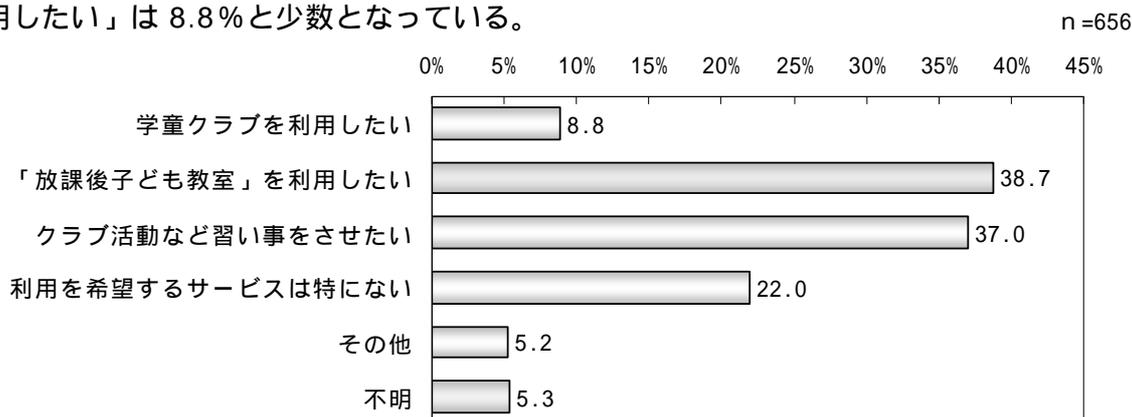
No.	カテゴリー名	n	%
1	1日	52	15.6
2	2日	123	36.8
3	3日	85	25.4
4	4日	14	4.2
5	5日	33	9.9
6	6日	0	0.0
7	7日	0	0.0
	不明	27	8.1
	非該当	322	
	全体	334	100.0

居住地区別の放課後子ども教室の利用意向は、“ Bブロック ” が 60.0% で最も高く、“ Aブロック ” が 38.1% で最も低い。

	全体	問 6 居住地区 (統合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	656 100.0	105 100.0	80 100.0	178 100.0	143 100.0	118 100.0	32 100.0	
問 9 - 7 放課後子ども教室の利用意向	意向がある	334 50.9	40 38.1	48 60.0	95 53.4	75 52.4	57 48.3	19 59.4
	意向がない	259 39.5	54 51.4	29 36.3	67 37.6	54 37.8	47 39.8	8 25.0
	不明	63 9.6	11 10.5	3 3.8	16 9.0	14 9.8	14 11.9	5 15.6

問 10 小学校 4 年生以降の放課後の過ごし方 SA

小学校 4 年生以降の放課後の過ごし方については、「放課後子ども教室を利用したい」の 38.7% と「クラブ活動など習い事をさせたい」の 37.0% を上げる人が多く、「学童クラブを利用したい」は 8.8% と少数となっている。



利用希望学年

No.	カテゴリー名	n	%
1	1年生	1	1.7
2	2年生	0	0.0
3	3年生	0	0.0
4	4年生	8	13.8
5	5年生	2	3.4
6	6年生	41	70.7
	不明	6	10.3
	非該当	598	
	全体	58	100.0

「学童クラブを利用したい」人が利用したい学年は、6年生までが70.4%で最も多くなっている。

居住地区別の放課後の希望する過ごし方は、「学童クラブ」は“Eブロック”で最も多く、「放課後子ども教室」は“Bブロック”で最も多い。

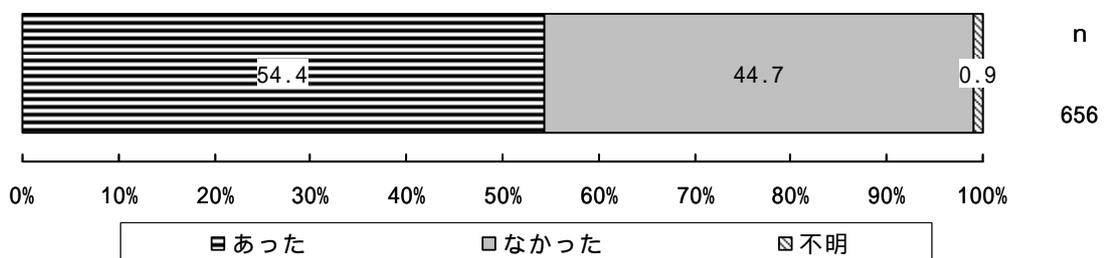
		全体	問6 居住地区(統合)					不明
			Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	
合計		656	105	80	178	143	118	32
		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
問10 放課後の希望する過ごし方	学童クラブを利用したい	58	8	6	11	12	17	4
		8.8	7.6	7.5	6.2	8.4	14.4	12.5
	「放課後子ども教室」を利用したい	254	30	35	73	57	44	15
		38.7	28.6	43.8	41.0	39.9	37.3	46.9
	クラブ活動など習い事をさせたい	243	37	30	72	47	48	9
		37.0	35.2	37.5	40.4	32.9	40.7	28.1
	利用を希望するサービスは特にない	144	30	17	34	28	30	5
	22.0	28.6	21.3	19.1	19.6	25.4	15.6	
その他	34	5	4	7	12	4	2	
	5.2	4.8	5.0	3.9	8.4	3.4	6.3	
不明	35	5	3	10	9	6	2	
	5.3	4.8	3.8	5.6	6.3	5.1	6.3	

4 病児・病後児保育について

問11 過去1年間に病気やケガで学校を休んだことの有無

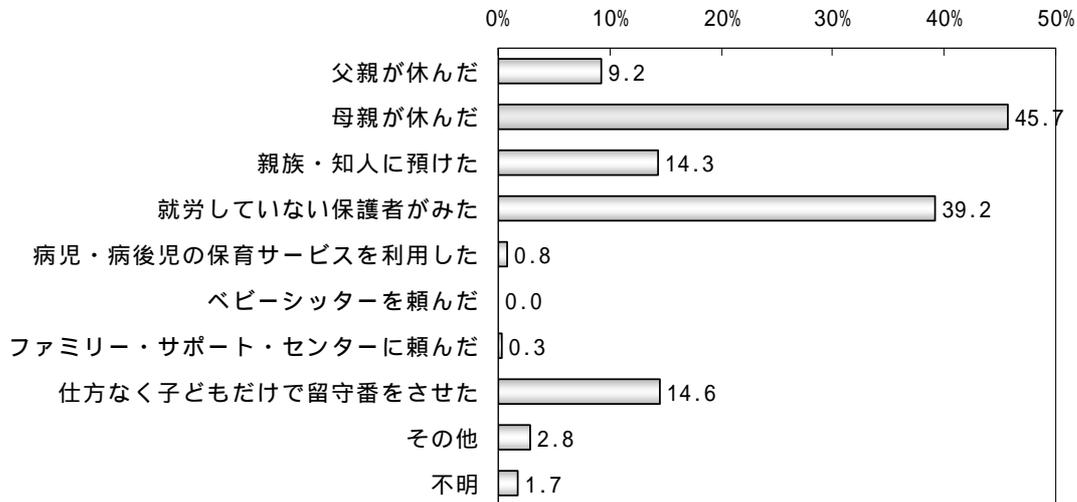
SA

過去1年間に学校を休んだことが「あった」人は54.4%、「なかった」は44.7%となっている。



問 11-1 学校を休まなければならなかった時の対処方法 問 11「1」 MA

過去1年間に学校を休まなければならなかったことがあったと回答した人の対処方法としては、「母親が休んだ」が45.7%最も多く、次いで「就労していない保護者がみた」39.2%となっている。 n=357



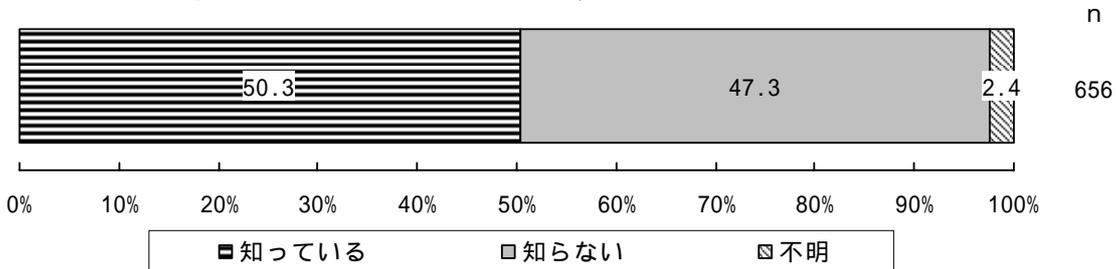
対処方法別の平均日数が最も多いものは、「親族・知人に預けた」の5.1日/年、次いで「病児・病後児の保育サービスを利用した」4.0日/年、「就労していない保護者がみた」3.7日/年、「母親が休んだ」2.8日「父親が休んだ」2.4日/年の順となっている。

問 11-2 できれば施設等に預けたいと思った日数 問 11「1~3」 MA

「父親が休んだ」「母親が休んだ」「(同居者を含む)親族・知人に預けた」と回答した人のうち、施設等に預けたいと思った日数を聞いたところ、回答があったのは30.2%であり、平均日数は0.9日となっている。

問 11-3 病後児保育室の認知度 SA

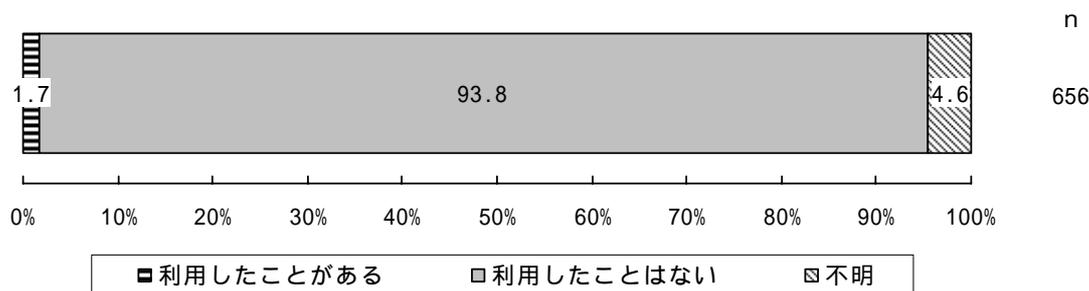
病後児保育室の認知度は、「知っている」が50.3%で、認知度は半数となっている。学年別でみると、低学年の方が認知度は高い。



	全体	問1 生年月							不明
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
合計	656 100.0	115 100.0	112 100.0	98 100.0	114 100.0	103 100.0	89 100.0	25 100.0	
問11-3 病後児保育室の認知度	知っている	330 50.3	75 65.2	60 53.6	52 53.1	58 50.9	45 43.7	33 37.1	7 28.0
	知らない	310 47.3	38 33.0	48 42.9	45 45.9	54 47.4	55 53.4	55 61.8	15 60.0
	不明	16 2.4	2 1.7	4 3.6	1 1.0	2 1.8	3 2.9	1 1.1	3 12.0

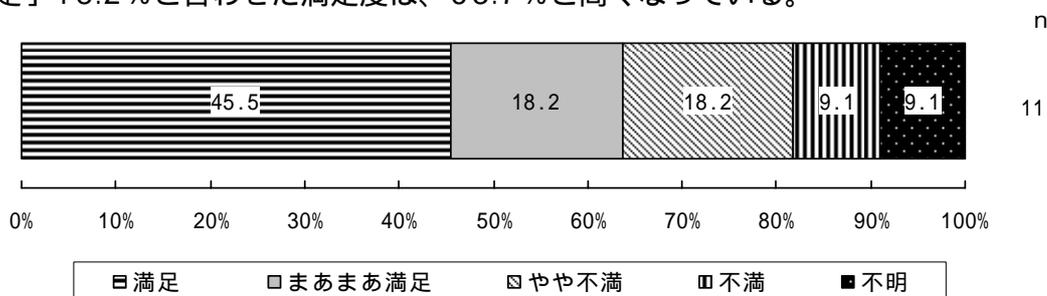
問 11-4 病後児保育室の利用経験 SA

病後児保育室の利用経験は、「利用したことがある」が 1.7%となっている。



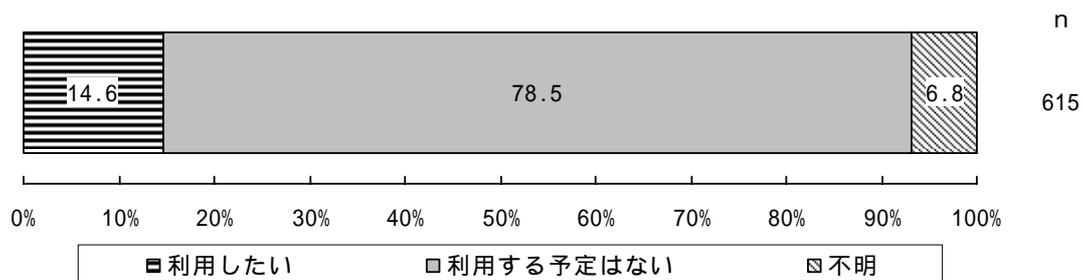
問 11-5 病後児保育室の満足度 問 11-4 「1」 SA

病後児保育室を利用したことがある人の満足度は、「満足」が 45.5%で最も多く、「まあまあ満足」18.2%と合わせた満足度は、63.7%と高くなっている。



問 11-6 病後児保育室の今後の利用意向 問 11-4 「2」 SA

病後児保育室未利用者の今後の利用意向は、「利用したい」14.6%、「利用する予定はない」78.5%となっている。



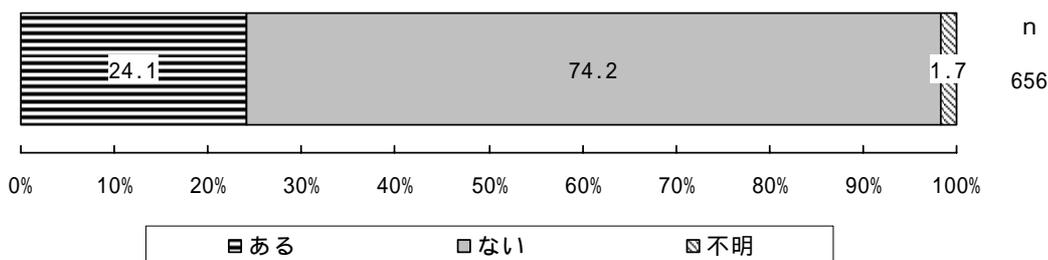
居住地区別でみると、“Cブロック”の利用意向が最も高い。

	全体	問6 居住地区(統合)					不明	
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック		
合計	615	98	73	169	133	114	28	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問11-6 病後児保育室の利用意向	利用したい	90	8	10	35	18	14	5
		14.6	8.2	13.7	20.7	13.5	12.3	17.9
	利用する予定はない	483	81	59	125	104	91	23
	78.5	82.7	80.8	74.0	78.2	79.8	82.1	
不明	42	9	4	9	11	9	0	
	6.8	9.2	5.5	5.3	8.3	7.9	0.0	

5 一時預かりについて

問 12 過去1年間に家族以外へ一時的に子どもを預けたことの有無 SA

過去1年間に家族以外に一時的に子どもを預けたことが「ある」人は24.1%で、預けた日数は平均年10.9日となっており、その内訳は「就労」が13.4日/年、「私用(買物、習い事等)リフレッシュ目的」が5.2日/年、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が3.4日/年の順となっている。



問 12-1 一時預かり(一時保育事業)の今後の利用意向 SA

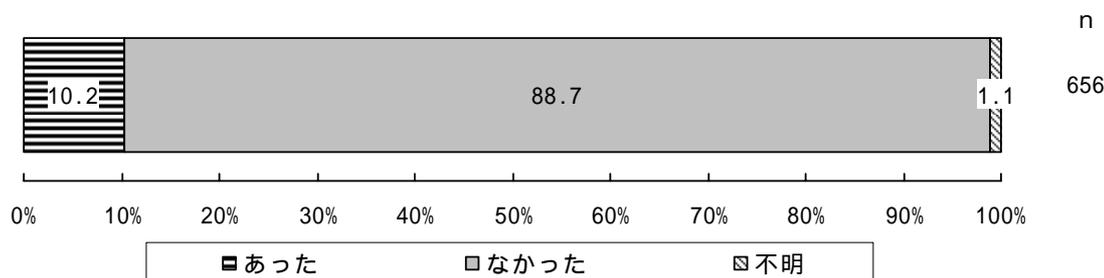
一時預かり(一時保育事業)今後の利用意向は、75人の回答があり、回答者の平均日数は1.9日/月となっている。

6 宿泊を伴う一時預かりについて

問 13 過去1年間に泊まりがけで家族以外に預けなければならないことの有無 SA

過去1年間に泊まりがけで家族以外に子どもを預けなければならないことが「あった(預け先が見つからなかった場合を含む)」は10.2%となっている。

学年別にみると、低学年の方が多い傾向がみられる。

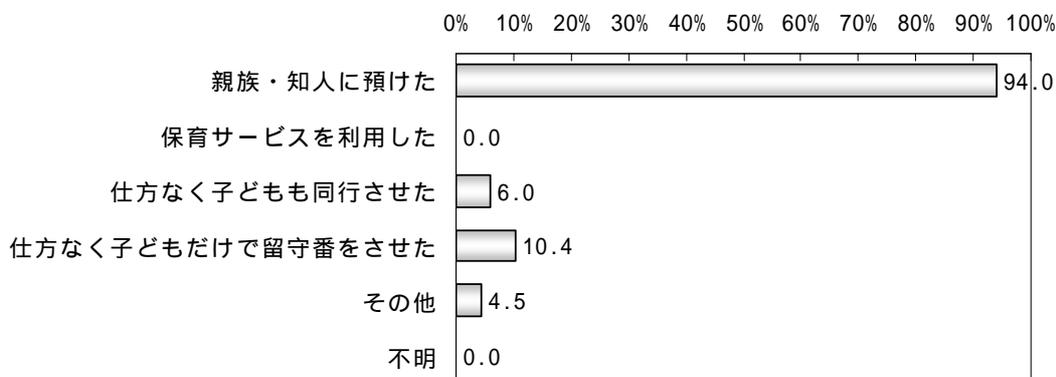


	全体	問1 生年月							不明
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
合計	656	115	112	98	114	103	89	25	
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
問12 家族以外への一時預かりの経験	ある	158	40	31	30	21	20	12	4
		24.1	34.8	27.7	30.6	18.4	19.4	13.5	16.0
	ない	487	75	77	68	93	79	77	18
	74.2	65.2	68.8	69.4	81.6	76.7	86.5	72.0	
不明	11	0	4	0	0	4	0	3	
	1.7	0.0	3.6	0.0	0.0	3.9	0.0	12.0	

問 13-1,2 対処方法と困難度 問 13「1」 SA

過去1年間に泊まりがけで家族以外に子どもを預けなければならないことがあった際の対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が94.0%でほとんどとなっており、その際の困難度としては、「特に困難ではない」が66.7%で過半数を占めている。

n=67



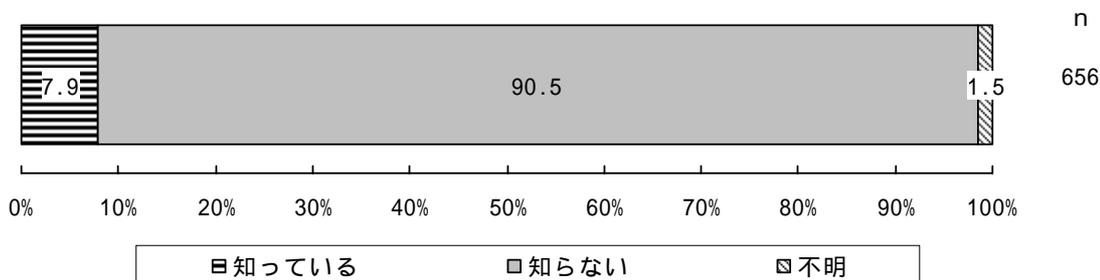
No.	カテゴリー名	n	%
1	非常に困難	4	6.3
2	どちらかという困難	14	22.2
3	特に困難ではない	42	66.7
	不明	3	4.8
	非該当	593	
	全体	63	100.0

対処方法別の預けた泊数

No.	カテゴリー名	泊数		
		最大	最小	平均
1	親族・知人に預けた	30.0	1.0	8.9
2	仕方なく子どもも同行させた	-	-	-
3	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3.0	2.0	2.7
4	その他	30.0	2.0	11.0

問 13-3 宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の認知度 SA

宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の認知度は、「知っている」が7.9%で、認知度は1割未満となっている。



問 13-4,5 宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の利用経験と満足度 SA

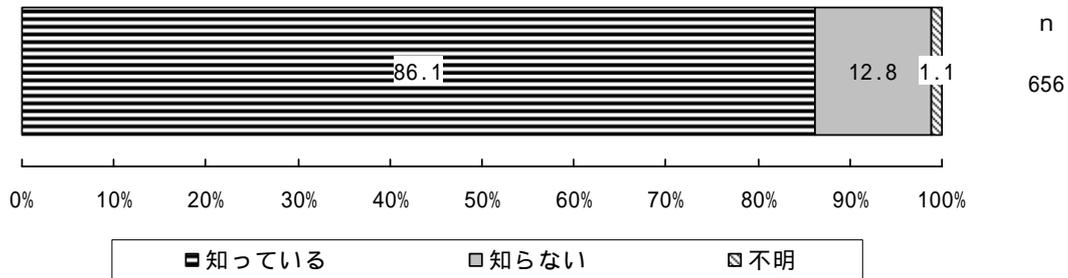
宿泊を伴う一時預かり(ショートステイ事業)の利用経験がある人は一人もいない。また、そのため利用者の満足度は回答者がいない。

7 ベビーシッターの利用について

問 14 ベビーシッターの認知度

SA

ベビーシッターの認知度、「知っている」が86.1%で、認知度は8割以上となっている。



問 14-1 ベビーシッターの利用目的

MA

ベビーシッターの利用目的については、回答者は11人で、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している」と「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」が5人、「その他の目的で利用している」が2人、「親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している」が1人である。

No.	カテゴリー名	n	%
1	子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している	5	0.8
2	祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している	5	0.8
3	親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している	1	0.2
4	その他の目的で利用している	2	0.3
	不明	645	98.3
	全体	656	100.0

問 14-2 ベビーシッターの頻度

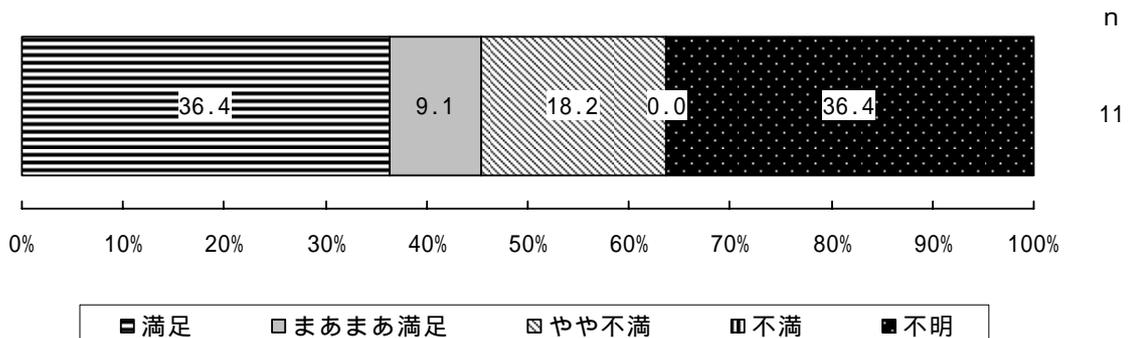
問 10-1 「10」 SA

ベビーシッターの利用頻度は、1.4日/月、1回あたり5.3時間となっている。

問 14-3 ベビーシッターの満足度

問 14-1 「1~4」 SA

ベビーシッターを利用したことがある人の満足度は、「満足」が36.4%で最も多く、「まあまあ満足」9.1%と合わせた満足度は45.5%である。

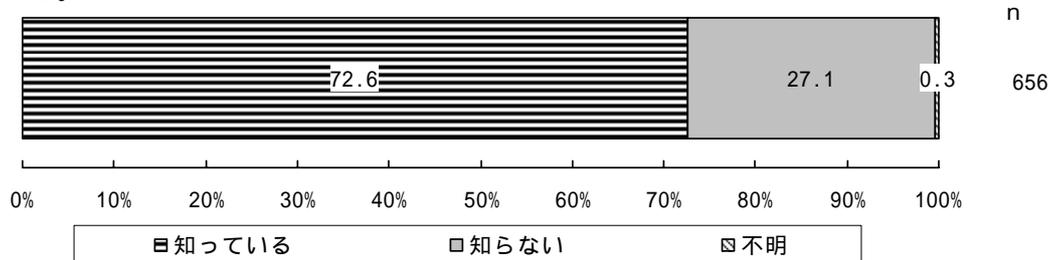


8 ファミリーサポートセンターの利用について

問 16 ファミリーサポートセンターの認知度

SA

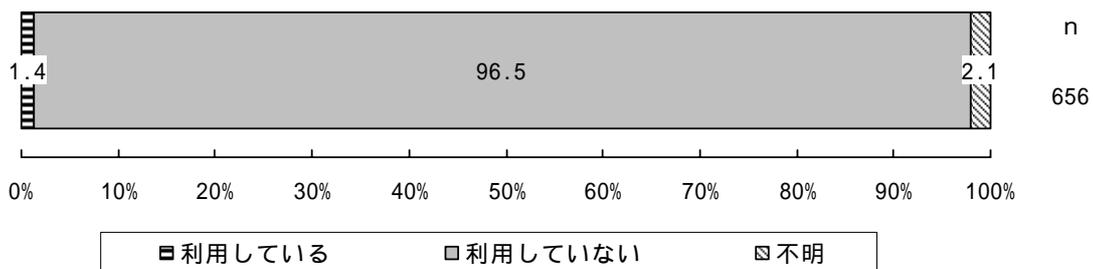
ファミリーサポートセンターの認知度は、「知っている」が72.6%で、認知度は7割以上となっている。



問 16-1 ファミリーサポートセンターの利用経験

SA

ファミリーサポートセンターの利用経験は、「利用したことがある」が9人(1.4%)と少数である。

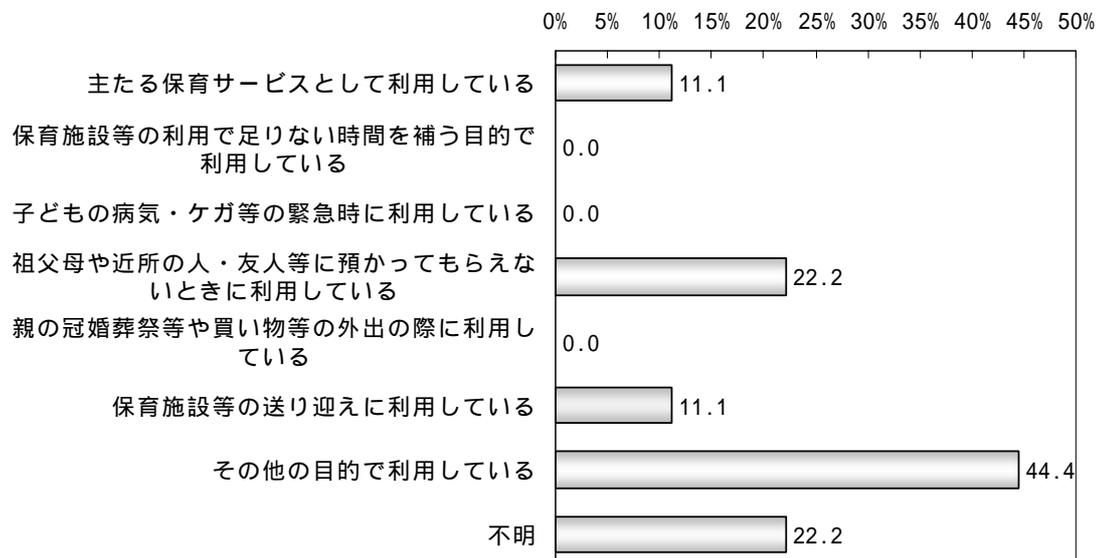


問 16-2 ファミリーサポートセンターの利用目的

問 16-1「1」 MA

ファミリーサポートセンターの利用目的は、「その他の目的で利用している」が44.4%で最も多く、次いで「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」22.2%、「主たる保育サービスとして利用している」と「保育施設等の送り迎えに利用している」が同率の11.1%の順である。

n=9



問 16-3 ファミリーサポートセンターの利用頻度 問 16-1「1」 NA

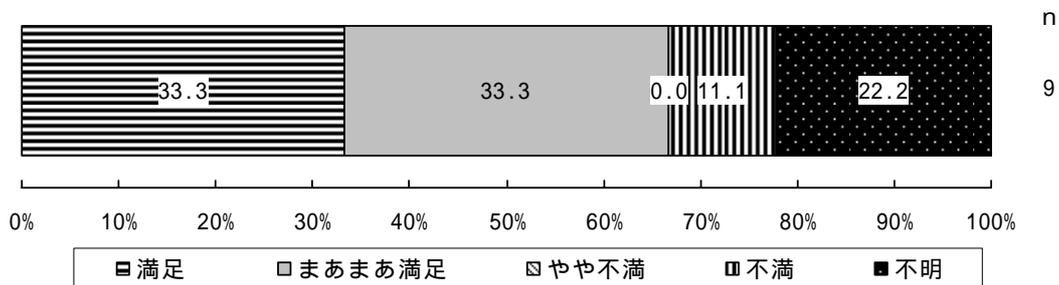
ファミリーサポートセンターの利用頻度は、平均 2.0 日 / 月、2.7 時間 / 1 回である。

問 16-4 利用時間を増やしたい希望 問 16-1「1」 NA

利用時間を増やしたいと回答したのは 3 人であり、平均 3.3 時間 / 月である。

問 16-5 ファミリーサポートセンターの満足度 問 16-1「1」 SA

ファミリーサポートセンターを利用したことがある人の満足度は、「まあまあ満足」と「満足」が同率の 33.3% で合わせた満足度は、66.6% となっている。



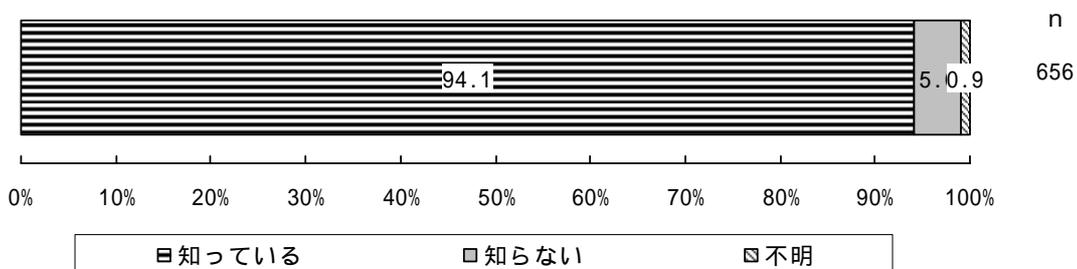
問 16-6 ファミリーサポートセンターの今後の利用意向 問 16-1「2」 SA

ファミリーサポートセンター未利用者の今後の利用意向は、95 人の回答があり、回答者の平均日数は 3.9 時間 / 月となっている。

9 児童館・児童センターについて

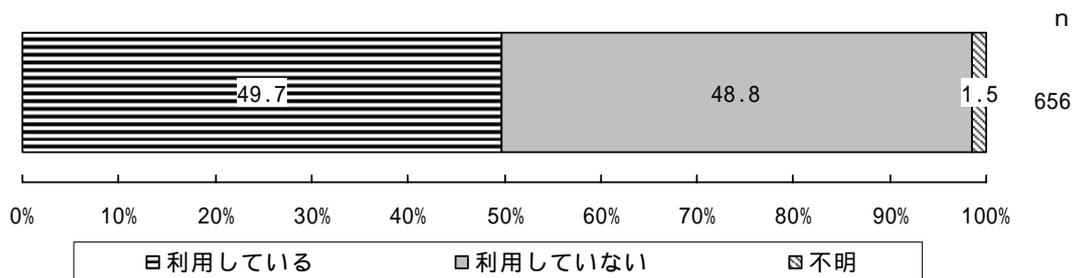
問 17 児童館・児童センターの認知度 SA

児童館・児童センターの認知度は、「知っている」が 94.1% となっている。



問 17-1 児童館・児童センターの利用経験 SA

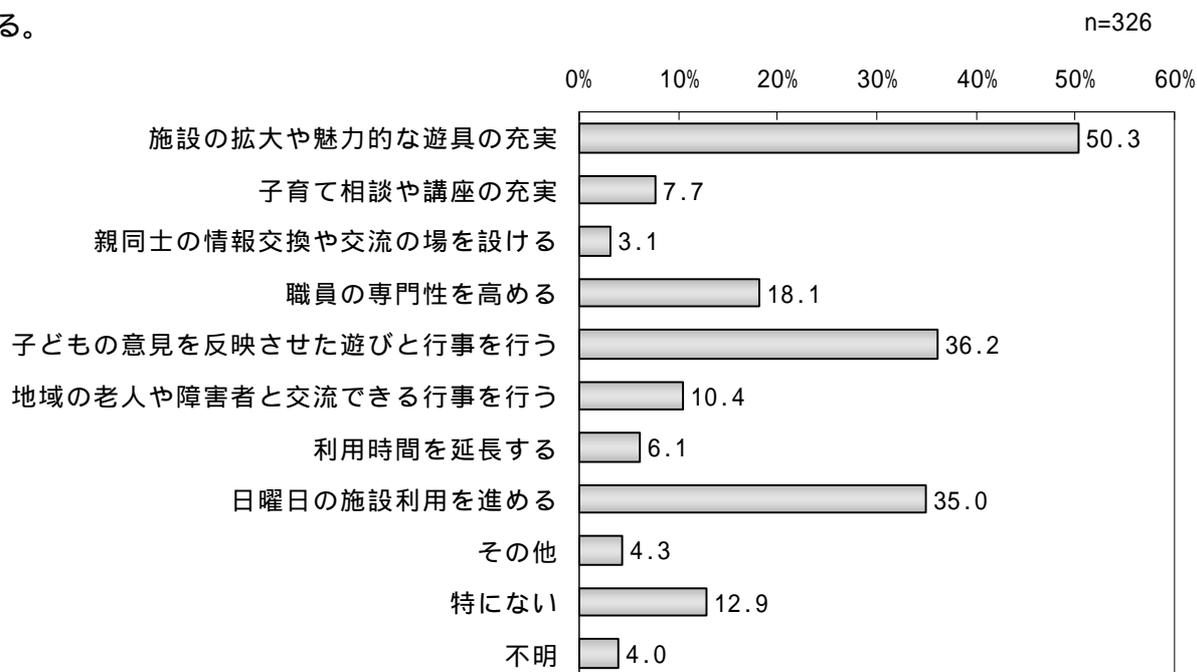
児童館・児童センターの利用経験は、「利用したことがある」が49.7%で約半数を占めており、学年別にみると低学年の利用が多い。



	全体	問1 生年月							
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	不明	
合計	656 100.0	115 100.0	112 100.0	98 100.0	114 100.0	103 100.0	89 100.0	25 100.0	
問17-1 児童館・児童センターの利用状況	利用している	326 49.7	61 53.0	69 61.6	55 56.1	57 50.0	42 40.8	29 32.6	13 52.0
	利用していない	320 48.8	53 46.1	40 35.7	42 42.9	56 49.1	58 56.3	60 67.4	11 44.0
	不明	10 1.5	1 0.9	3 2.7	1 1.0	1 0.9	3 2.9	0 0.0	1 4.0

問 17-2 児童館・児童センターへの要望 問 17-1 「1」 MA

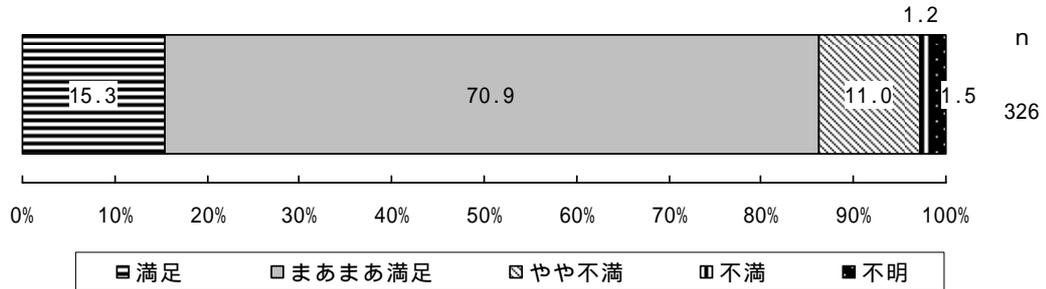
児童館・児童センターを利用したことがある人の児童館・児童センターへの要望は、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が50.3%で過半数を占めて最も多く、次いで「子どもの意見を反映させた遊びと行事を行う」36.2%、「日曜日の施設利用を進める」35.0%の順となっている。



問 17-3 児童館・児童センターの満足度

問 17-1「1」 SA

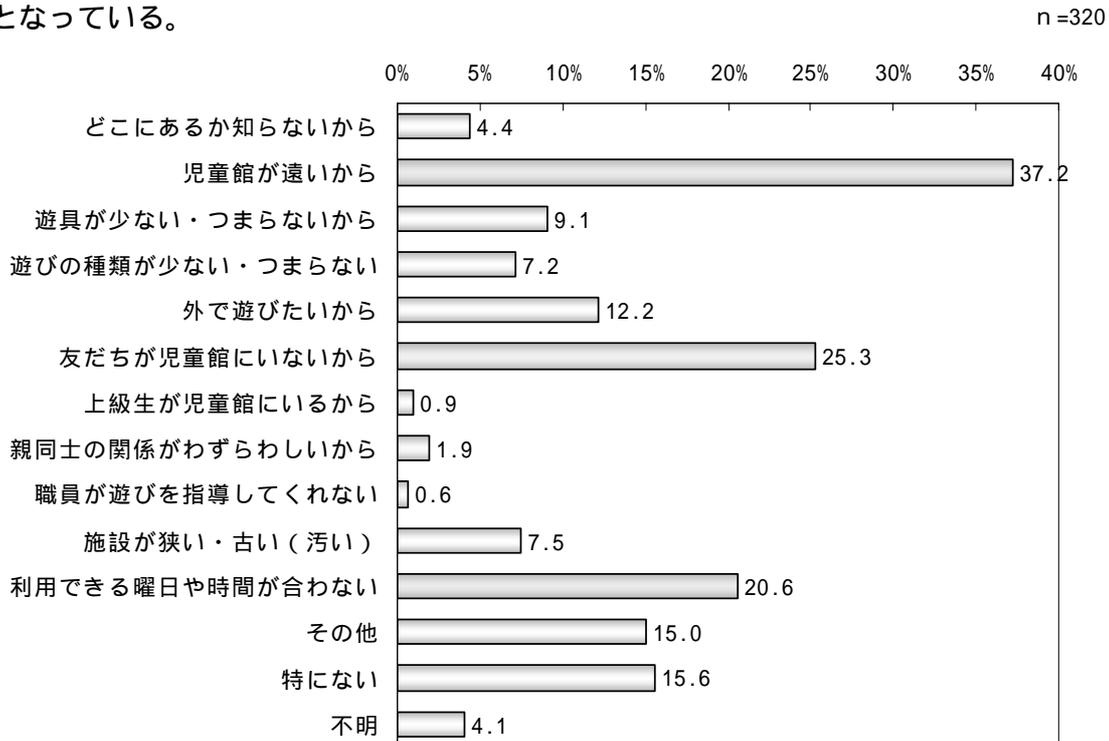
児童館・児童センターを利用したことがある人の満足度は、「まあまあ満足」が70.9%で最も多く、「満足」15.3%と合わせた満足度は、86.2%と高くなっている。



問 17-4 児童館・児童センターの未利用の理由

問 17-1「2」 MA

児童館・児童センター未利用の理由については、「児童館が遠いから」が37.2%で最も多く、次いで「友だちが児童館にいないから」25.3%、「利用できる曜日や時間が合わない」20.6%の順となっている。

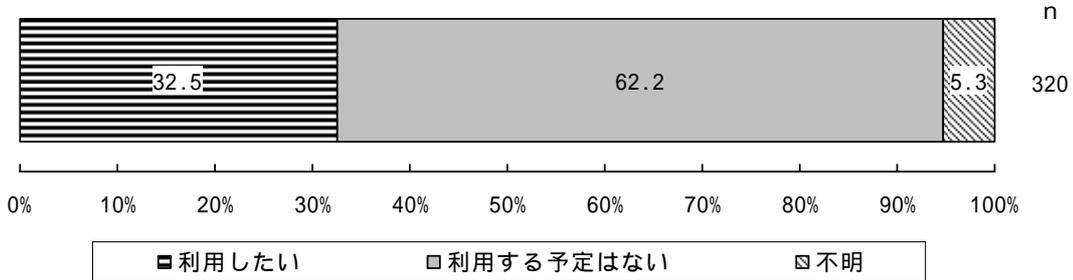


問 17-5 児童館・児童センターの今後の利用意向

問 17-1「2」 SA

児童館・児童センター未利用者の今後の利用意向については、「利用したい」が32.5%、「利用する予定はない」62.2%となっている。

居住地区別では、“Cブロック”の利用意向が33.8%で最も高い。



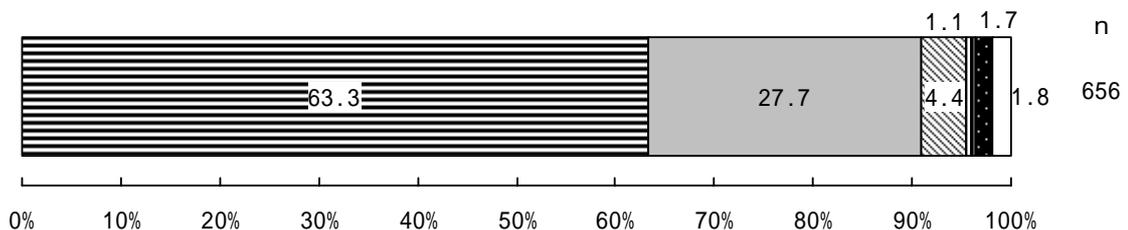
	全体	問 6 居住地区 (統合)						
		Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック	Eブロック	不明	
合計	320 100.0	62 100.0	54 100.0	71 100.0	72 100.0	45 100.0	16 100.0	
問17-5 今後の利用意向	利用したい	104 32.5	20 32.3	17 31.5	24 33.8	23 31.9	15 33.3	5 31.3
	利用する予定はない	199 62.2	38 61.3	36 66.7	41 57.7	46 63.9	28 62.2	10 62.5
	不明	17 5.3	4 6.5	1 1.9	6 8.5	3 4.2	2 4.4	1 6.3

10 子育てについての不安感や負担感

問 18 子育ての感想

SA

子育てに関する感想としては、「楽しいと感じることの方が多い」が63.3%で最も多く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が27.7%、「辛いと感じることの方が多い」が4.4%となっている。



- ☐ 楽しいと感じることの方が多い
- ▣ 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
- ▨ 辛いと感じることの方が多い
- その他
- わからない
- 不明

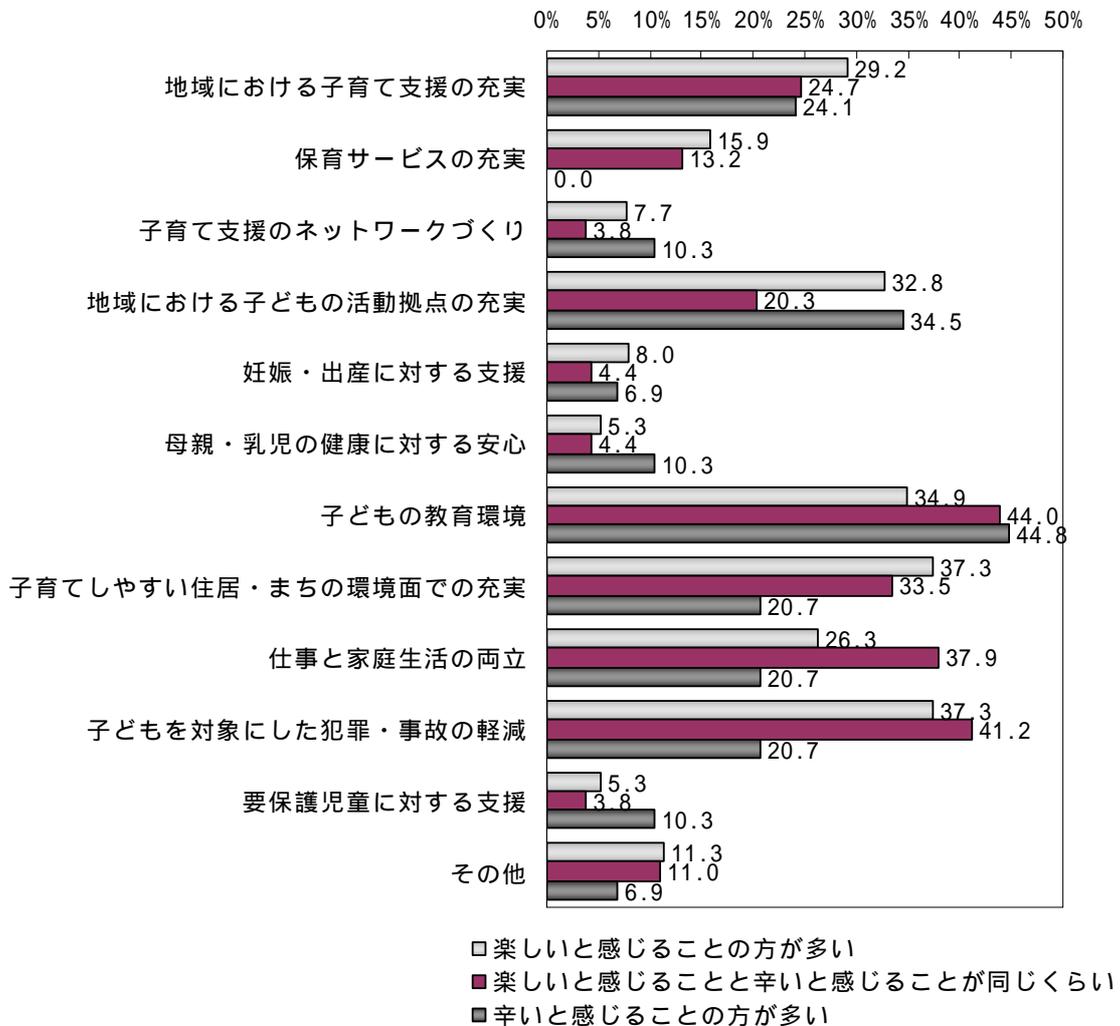
問 18-1 有効な支援と必要なこと.

問 22 「1～3」 MA

“子育てが楽しいと感じることが多い”人にとって有効な支援・対策は、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」と「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が同率の37.3%で最も多く、次いで「子どもの教育環境」34.9%、「地域における子どもの活動拠点の充実」32.8%の順となっている。

“楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい”人にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは、「子どもの教育環境」が44.0%で最も多く、次いで「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」41.2%、「仕事と家庭生活の両立」37.9%の順となっている。

“辛いと感じることの方が多”人にとって子育ての辛さを解消するために必要なことは、「子どもの教育環境」が44.8%で最も多く、次いで「地域における子どもの活動拠点の充実」34.5%、「地域における子育て支援の充実」24.1%の順となっている。

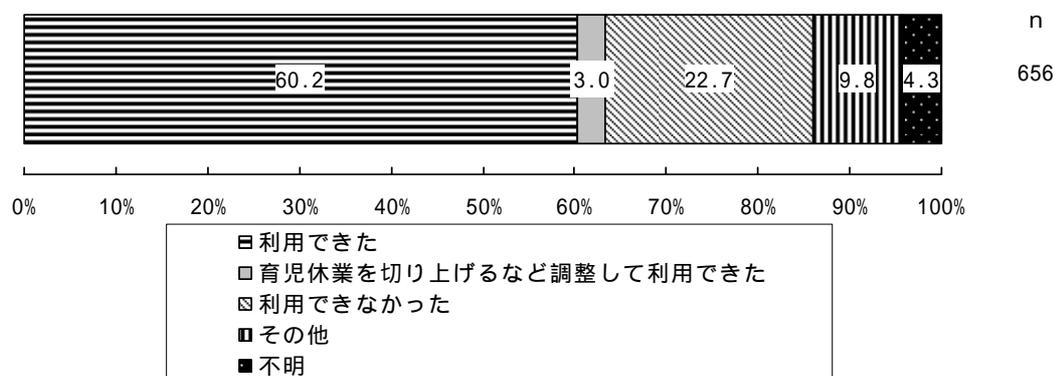


11 保育サービスの利便性について

問 19 入学前に希望どおりに保育サービスを利用できたか

SA

希望どおりの保育サービスの利用については、「利用できた」が60.2%で最も多く、次いで「利用できなかった」22.7%、「その他」9.8%となっている。



付問 19 育児休業を切り上げるなど調整して利用できた人の具体的な内容

FA

育児休業を切り上げるなど調整して利用できた人の具体的な内容は以下のとおりである。

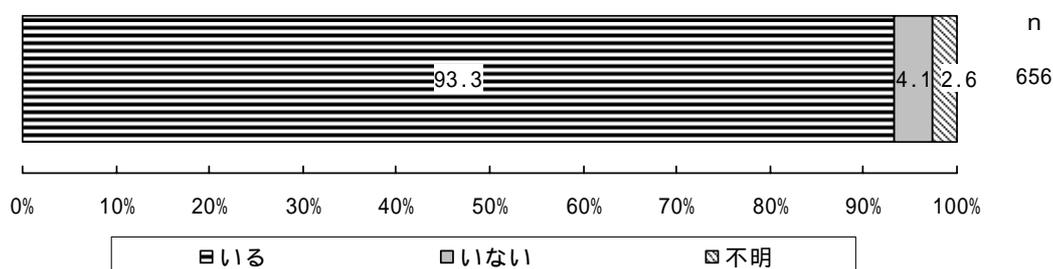
意見内容	件数
4月保育園入園のため育児休業期間を短縮した	4
希望以外の無認可保育園を利用	3
保育園に入れることができなかった	6
保育園入園のため育児休業を取得しなかった	1
在宅で仕事をした	1
幼稚園の延長保育を利用	1
仕事を辞めた	1
保育ママを利用	1

12 子育ての相談について

付問 20 相談相手や相談場所の有無

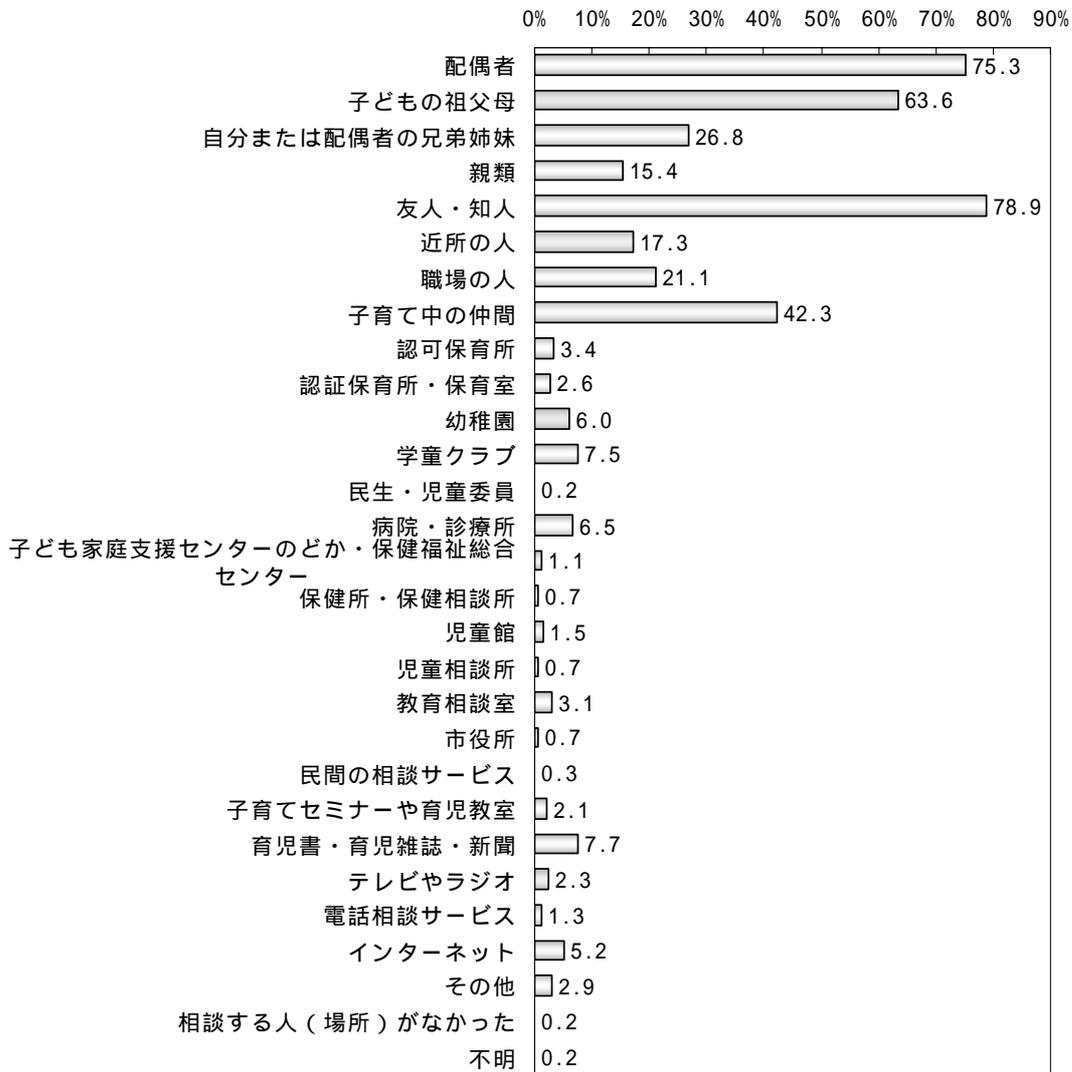
SA

子育ての相談相手や相談場所は、「いる(ある)」が93.3%となっている。



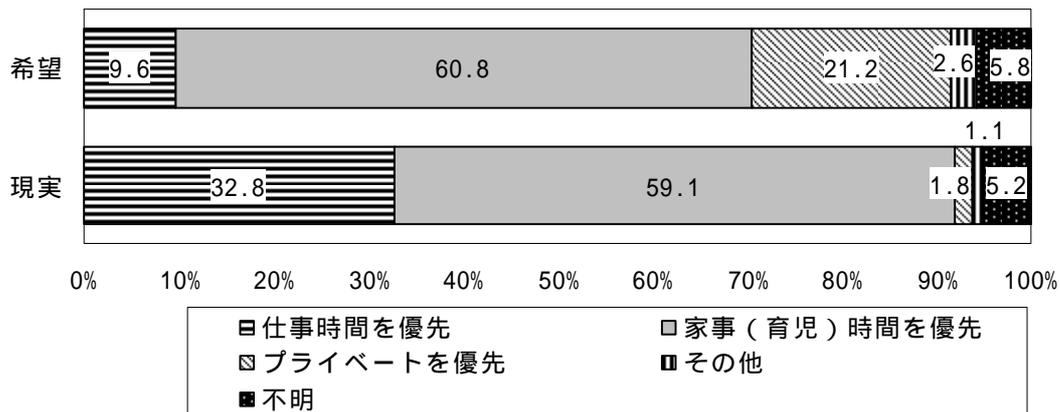
付問 21 相談相手や相談場所 問 22 「1」 MA

相談相手や相談場所は、「友人・知人」が78.9%で最も多く、次いで「配偶者」75.3%、「子どもの祖父母」63.6%が上位となっている。 n=612



問 21 「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度 SA

「仕事時間」と「家事(育児)・プライベートの生活時間」の優先度については、“希望”、“現実”ともに、「家事(育児)時間を優先」が最も多い。 n=656



13 妊娠・出産・子育ての感想

問 22 出産前～3歳以降の気持ち

SA

母親の出産前から3歳以降の気持ちについては、「とても楽しかった」は“3歳以降”が47.0%で最も多く、“出産後”が28.4%で最も少ない。

	全体	とても楽しかった	やや楽しかった	ややつらかった	とてもつらかった	不明
出産前	656	268	222	118	30	18
	100.0	40.9	33.8	18.0	4.6	2.7
出産後1か月まで	656	186	173	189	88	20
	100.0	28.4	26.4	28.8	13.4	3.0
出産後～1歳まで	656	256	225	112	33	30
	100.0	39.0	34.3	17.1	5.0	4.6
1歳～2歳頃	656	281	242	88	20	25
	100.0	42.8	36.9	13.4	3.0	3.8
3歳以降	656	308	249	57	11	31
	100.0	47.0	38.0	8.7	1.7	4.7

問 22 大変だったこと

FA

大変だったこととして、挙げられた主な意見は以下のとおりである。

	大変だったこと
出産前	体調管理、つわり、上の子の世話、家事、経済的な問題、仕事との両立、知り合いがいないこと
出産後1か月まで	産後の体調管理、不眠による睡眠不足、夜泣きや授乳などによる育児疲れ、上の子の世話（あかちゃん返り、幼稚園や保育園の送迎）、家事、経済的な問題、自分の時間がとれないこと、配偶者が協力的でないこと
出産後～1歳まで	産後の体調管理、不眠、アレルギー、離乳食、夜泣きや授乳などによる育児疲れ、上の子の世話、子どもの病気・体調、家事、仕事との両立
1歳～2歳頃	子どもの世話 自分の勉強時間がない、家事、子どもの病気（アトピー、アレルギー）、子どものしつけ、人見知り、おむつはずし、外遊び、子ども同士のけんか、仕事との両立、経済的な問題、一人での子育て
3歳以降	子どもの世話 自分の体調、幼稚園・保育園での過ごし方、家事、お母さん同士の付き合い、子どもの病気（アトピー、アレルギー）、子どものしつけ、人見知り、おむつはずし、外遊び、子ども同士のけんか、仕事との両立、経済的な問題、一人での子育て、遊び場、保育園・幼稚園の送迎

問 22 大変だったときに、一番支えになってくれた人 FA

一番支えになってくれた人で、挙げられた主な意見は次のとおりである。

	一番支えになってくれた人
出産前	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、職場の人、おなかの赤ちゃん、上の子、経験者、いない
出産後1か月まで	配偶者、親、兄弟、友人、職場の人、近所の人、誰もいない
出産後～1歳まで	配偶者、親、姉妹、祖父母、親戚、友人、職場の人、近所の人、医師・看護師・助産師、保育園、我が子、インターネットによる育児相談、職場の雇用体制の確立、宅配サービス、離乳食を売っているお店、いない
1歳～2歳頃	配偶者、親、姉妹、親類、祖父母、友人、職場の人、近所の人、医師・看護師、保育園の職員、我が子、上の子、幼児教室、「体のはついく相談」いない
3歳以降	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、親戚、職場の人、近所の人、医師・看護師、医療機関の心理の先生、保育園・保育園の職員さん、児童館、我が子、上の子、いない

問 22 一番支えになって欲しかった人 FA

一番支えになって欲しかった人で、挙げられた主な意見は次のとおりである。

	支えて欲しかった人
出産前	配偶者、親、姉妹、友人、家政婦、職場の人、行政、社会全体、上の子、近所の人
出産後1か月まで	配偶者、親、姉妹、祖父母、上の子ども、育児のベテランの人、友人、行政のヘルパー、助産師さん、誰でも良い、近所の人
出産後～1歳まで	配偶者、親、姉妹、友人、行政、保育園、行政のヘルパー、保育園に入所しやすい制度、短時間でも預かってくれる制度、すべての人、なし
1歳～2歳頃	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、行政、保育園、医師、社会全体、専門家、一時預かり等の保育サービス、児童館、職場の人、ない
3歳以降	配偶者、親、姉妹、祖父母、友人、行政、保育園・幼稚園の職員、医師、社会全体、専門家、第三者サービス、保育園などの一時保育、職場の友人・上司、ひいらぎの先生と友人、特にない

問 22 出産前～3歳以降に欲しい支援 MA

母親の出産前から3歳以降に欲しい支援は、“出産前”と“出産後1か月まで”は「家事援助」が最も多く、“出産後～1歳まで”と“1～2歳頃”と“3歳以降”は「一時保育」が最も多い。

	全体	一時保育	個別訪問	家事援助	相談	その他	不明
出産前	656	114	63	224	117	70	201
	100.0	17.4	9.6	34.1	17.8	10.7	30.6
出産後1か月まで	656	170	91	228	116	79	178
	100.0	25.9	13.9	34.8	17.7	12.0	27.1
出産後～1歳まで	656	220	57	172	121	81	208
	100.0	33.5	8.7	26.2	18.4	12.3	31.7
1歳～2歳頃	656	214	41	136	112	79	243
	100.0	32.6	6.3	20.7	17.1	12.0	37.0
3歳以降	656	179	32	101	107	81	285
	100.0	27.3	4.9	15.4	16.3	12.3	43.4